第4回20歳のつどい

一生残る晴れ舞台に

▲実行委員の皆さん

令和8年1月11日㈰に開催された第4回20歳のつどい。最高の式にしようと、15人の実行委員が集結しました。市外・県外へ進学した人や、社会人となり敦賀で働く人もいます。それぞれの環境は違いますが、ふるさと敦賀を愛する気持ちは皆同じです。

実行委員15人は忙しい日々の合間を縫い、それぞれの得意分野を生かしながら仲間と協力して準備を進めてきました。20歳のつどい当日までの気持ちや今後の夢・抱負などをインタビューしました。

今回、実行委員に応募したきっかけは何ですか。

千田 高校3年生の時、クラスの中で実行委員を1人決めるとなった際、私にも何かできることがあればと思い手を上げました。

川北 実行委員として、準備作業に参加してみたいと思ったからです。立候補しました。

澤田 「20歳のつどい」がどのような流れを経て開催されるのか気になっていたからです。

北野 人生で一度しかない式典を自分たちの手で企画・運営したいと考えていたからです。

倉田 人生で一度きりの行事なので、実行委員としてぜひ参加したいと思い応募しました。

石田 高校時代の先生に誘われました。なかなか経験できることではないので、頑張ってみようと思いました。

人生の節目のイベントです。どんな思いで取り組みましたか。

藤井 私はビデオレターの編集を担当しました。久々に見る恩師からのメッセージが、少しでも心に響く感動するようなものになるよう心掛けました。

川北 一生に一度の行事なので、皆が楽しくいつまでも記憶に残るようなものにしたいという思いで考えました。

高井 成人という節目を皆が前向きな気持ちで迎えられるよう、自分にとっても皆にとっても良い思い出になれば嬉しいという思いで取り組みました。

楽間 実際に企画を実行した場合を想定し、皆が楽しくなるにはどうすれば良いかを考えながら企画を練りました。

伊原 皆の記憶に残る楽しい式になればという思いで頑張りました。

学業や仕事と両立しながらの準備はいかがでしたか。

増井 行けない日もありましたが、実行委員の仲間たちが協力して進めてくれたおかげで仕事と両立することができました。

安原 土、日も大学の授業のため帰省できず、準備に参加できない日がありました。

北野 仲間たちと役割分担を決めたおかげもあり、手際よく進めることができました。

若山 仕事をしながら恩師のビデオレターを撮りに行くのは大変でしたが、素晴らしい式典にしたいという思いから頑張ることができました。

村中 仕事終わりに打ち合わせをすることもあり大変でした。

上田 市外に住んでおり、学業との両立が大変でした。また、景品決めが大変でした。

実行委員の皆さんに夢や抱負をお聞きしました

増井ひかりさん（気比中出身）

大人の女性になりたいです。

藤井朔斗さん（気比中出身）

「健康に過ごすこと」を大切にして生きていきたいです。

千田望香さん（気比中出身）

看護師になる夢を叶えるため、今年から始まる実習に頑張って取り組みたいです。

川北智也さん（松陵中出身）

キャンピングカーを購入し、日本一周したいです。

安原有咲さん（粟野中出身）

大学の実習に向けて勉強を頑張りたいです。

澤田虎旺さん（松陵中出身）

車を購入して旅行に行きたいです。また、お世話になった方々に感謝を伝えたいです。

高井乃々香さん（粟野中出身）

公認心理師になる夢に向かって勉強に励みながら、さまざまな方と関わっていきたいです。

北野遙輝さん（敦賀気比高校附属中出身）

将来に向けて、挑戦したいこと全てに取り組めるだけのスキルを身に付けたいです。

若山瑞希さん（松陵中出身）

副市長になれるくらい、一生懸命仕事を頑張りたいです。

楽間瑛さん（粟野中出身）

生活習慣を整え、健康を第一に考えて過ごしていきたいです。

村中琴美さん（粟野中出身）

仕事では、先輩として後輩に上手く指導できるように頑張りたいです。

伊原敬貴さん（粟野中出身）

行動に責任を持って仕事をしながら、プライベートも充実させていきたいです。

上田咲良さん（粟野中出身）

看護師になり、幸せな家庭を築いていきたいです。

倉田柊登さん（気比中出身）

仕事で一人前になれるように努力しつつ、貯金もしていきたいです。

石田里桜さん（粟野中出身）

周りの方への感謝の気持ちを大切にし、幸せになりたいです。